

飛び超えて学ぼう。
学んでつながろう。

Super Jump and Learn and Connect.

障害の有無にかかわらず、共に学び生きる共生社会の実現を目指し、NPO法人ピープルデザイン研究所と文部科学省の共催で、2018年より実施しているフォーラムイベント、「超福祉の学校」。

2021年からは渋谷区も加わり、タイトルを「超福祉の学校 @SHIBUYA」として規模を拡大。従来の障害福祉や特別支援教育の枠に収まらない、多様な方々がシンポジウムに登壇します。全国各地の教育・生涯学習・学ぶ・働く等々に関する具体的なアクションや最新事例を、渋谷からオフ＆オンラインで全国に発信。オンラインで参加できない方や渋谷まで来られない方も、場所と時間を飛び超えて、いつでもどこからでも参加できるイベントです。みなさんと共に、誰もが学びあえる"学び舎"を創り上げていきます。



超福祉の 学校

SUPER WELFARE
SCHOOL
@SHIBUYA

2023

10.27 Fri - 29 Sun 11:00 - 20:30 29 Sun 19:00 close.

渋谷ヒカリエ 8F 08/COURT

主催：NPO法人ピープルデザイン研究所 共催：文部科学省 渋谷区 東京都教育委員会 株式会社丹青社
特別協力：東急株式会社 Creative Space 8/ 株式会社丹青ディスプレイ 協賛：Yogibo

yogibo
SOCIALGOOD

Streaming
Online!



東京都教育委員会では、様々な機関やNPO、企業などの団体と連携・協働し、障害者の新たな生涯学習支援体制の構築を進めています。その一環として、シンポジウム「インクルーシブな生涯学習活動を充実させるために必要なこと」及び「Z世代とつくるインクルーシブな場」を開催し、You Tubeによるライブ配信を行います。

10.27(fri) 15:00-16:30

インクルーシブな生涯学習活動を 充実させるために必要なこと

～文化芸術活動を事例に～

① 渋谷ヒカリエ8F 「8/」COURT

特別支援学校をはじめとする様々な場所で行われるインクルーシブな文化芸術活動を事例に、多様な切り口から障害者の活動の場に携わる方々にお話を伺います。そして、そのような活動に参加し得られる「学び」や、インクルーシブな生涯学習活動を充実させるために必要な視点等について、意見交換を行います。

登壇者

小松原 修

佐賀大学大学院学校教育学研究科
教育実践探求専攻 准教授

中津川 浩章

合同会社 表現活動研究所ラスコー代表
NPO法人エイブル・アート・ジャパン理事

山田 小百合

NPO法人Collable代表理事

小野田 由夏

東京都特別支援学校PTA連合会会長

大塚 千枝

(公財) 東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 活動支援部 相談・サポート課長

井口 啓太郎

国立市教育委員会教育部公民館
館長補佐 (生涯学習課課長補佐兼任)

オンライン配信



peatix
座席予約



10.28(sat) 17:00-18:30

Z世代とつくる インクルーシブな場

① 渋谷ヒカリエ8F 「8/」COURT

障害のある人たちとZ世代(※)の若者たちがボランティア活動を通じて出会い、生まれた新たな交流の取組を紹介し、障害の有無に関わらず多様な人々が交わる場でどのような学びがあるのか、その発見と意義について体现しているユースボランティアの方たちと話し合います。

※ 厳密な定義はありませんが、1990年代後半から2000年代頃までに生まれた人々のことを指します。

登壇者

大石 佳奈子

NPO法人Hands On Tokyo
ユースボランティア

高橋 翔元 ダニエル

NPO法人Hands On Tokyo
ユースボランティア

白城 瑠加守

NPO法人Hands On Tokyo
ユースボランティア

杉浦 遥平

一般社団法人ウィルドア職員
都立世田谷総合高校キャリアアドバイザー

小林 瑞恵

社会福祉法人愛成会 副理事長
アートディレクター

梶野 光信

東京都教育庁地域教育支援部
生涯学習課 主任社会教育主事

オンライン配信



peatix
座席予約



※ シンポジウムは事前申込み不要、参加無料です。

※ 各シンポジウムのオンライン配信のQRコードから、リアルタイムでのライブ配信、ならびにアーカイブ映像をご覧いただけます。

※ 会場の座席には限りがございますので、あらかじめご了承ください。ご希望の方は座席の事前予約が可能です。

※ シンポジウムでは手話通訳と、「FUJITSU Software LiveTalk」により字幕がつきます。(協力：富士通株式会社)